

地域おこし協力隊紹介 ～私と活動と、時々、暮し～

都市部から地方への移住を促進する国の制度「地域おこし協力隊」。個性溢れる隊員自らが活動を紹介するシリーズ！

《問合せ》地域づくり課 ☎21-9096

宿泊業で外国人へ恩返し

大学を卒業後に銀行へ就職したものの、毎日の緊張と圧力の中で鬱^{うつ}を発症。「誰にも会いたくない」という一心で、海外へ逃避行しました。しかし、この旅が思わぬ転機に。さまざまな国で人々と出会い、多様な生き方に触れ、私の中の人生の選択肢は広がっていきました。海外就職や起業など、以前の自分では考えられなかった道に次々と挑戦することで、私の人生は徐々に好転していきました。

この経験を通じて、人生を明るい方向へ導いてくれた海外の人々に恩返しをしたいという気持ちが芽生えました。そして、帰国後に豊岡での起業プログラムに参加し、空き家を活用した外国人向けの長期滞在型宿泊施設を起業したいと考えました。

家の歴史は魅力のひとつ

現在は起業型の地域おこし協力隊として活動しており、元協力隊と協働して空き家を活用した開

vol.50

外国人向け

長期滞在型宿泊施設の起業

はやし だ ひろ ゆき

林田 大幸

鳥取県鳥取市出身。香港やインドでの海外就職を経てWebマーケティング分野で起業。コロナ禍で地元へUターンしたことを機に宿泊業への挑戦を決める。



業を目指しています。私たちが手掛けているのは長い歴史を持つ古民家で、多くの残置物を整理することから始まりました。作業を進めていると、前の所有者がどのような仕事をしていたのか、どんな趣味を持っていたのかが少しずつ見えてきます。残された品々のうち、特に魅力的なものは宿泊施設の装飾品として活用するなど建物が持つ物語を途切れさせることなく、未来へとつないでいくような空間を作りたいです。

刺激的なまち・豊岡

市内では外国人を見る機会が多く、日本にいながらにして異国の雰囲気味わえるのが楽しいです。また、多くの移住者が集まり、創造的な活動を展開している点も刺激的で、彼らから得るインスピレーションは、私に新たな視点をもたらしてくれています。



▲魅力的な空間を目指します



第25回 大阪・関西万博のエコなええこと

脱炭素を推進するため、身近な環境問題と家庭でできるエコ活動を紹介し
ます。 《問合せ》コウノトリ共生課脱炭素推進室 ☎21-9136

先日、話題の大阪・関西万博に行ってきました。大阪・関西万博では「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに、さまざまな国・企業が技術・文化を表現するパビリオン^{※1}が展開されています。

ウズベキスタンパビリオンでは、日本で解体された建物のレンガが使われており、このレンガはもちろん、建築物で使用されている木材などは万博終了後全てウズベキスタンで再利用されます。特定非営利活動法人ゼリ・ジャパンが手掛けているBLUE OCEAN DOMEでは「海の蘇生」をテーマに海洋が直面している危機について表現されています。気候変動による海水温の上昇がもたらしている影響、地球規模で進むプラスチック汚染問題など、鮮明に実感することができます。未来も世界も感じられるパビリオンは、持続可能な未来のビジョンを力強く示してくれるものでした。

また、会場内のレストランやカフェでは、「代替肉」^{※2}を使ったハンバーガーの提供や間伐材を使った木のスプーンの使用、会場内で消費・賞味期限の迫った食品やお土産を来場者が安価に購入できる食品ロス削減アプリを導入されるなど、環境に配慮していることがうかがえました。



今回大阪・関西万博に訪れてみて、自然環境と調和できる暮らし方を体験したり、具体的な未来社会の可能性を知ることができました。私たちの暮らしが末永く心地よいものであるために、一つ一つの選択を見直していきたいものです。

※1 パビリオン…特定の国や企業、テーマに沿って設計される建物

※2 代替肉…豆などの植物性原料で作られた肉のような食感や風味のある食品

(NPO法人 暮らしのエコをすすめる但馬の会)

「手話」は「言語」です

4月に豊岡市手話言語条例が施行されました。

この条例は、手話を「言語」として位置付け、手話言語の普及と「きこえない・きこえにくいことへの理解」を深め、誰もが安心して暮らせるまちづくりを進めるためのものです。

《問合せ》社会福祉課 ☎24-7033 FAX24-4516

豊岡市では、何をしていくの？

手話言語の周知・普及

- ・市広報や市ホームページに情報を掲載
- ・普及、啓発イベントの実施

手話言語にふれる機会の確保

- ・小中学校などでの「手話教室」
- ・出前講座「手話言語ってなに？～手話言語と聴覚障害への理解～」の実施
- ・手話奉仕員養成講座の開催

意思疎通手段の確保

- ・公共施設や病院、イベントなどへ手話通訳者を派遣



豊岡市手話言語条例 ▶

知ってほしい ろう者の願い・思い

まちの人たちが、手話であいさつしてくれたらうれしい



病院・駅・空港などに手話通訳者がいたら安心



スーパーなどで、少しでも手話が通じると、とってもうれしい



「手話でのコミュニケーションは難しい」と思わず、身振りでも良いので話しかけてほしい



目を合わせてから、口元が見えるようにして話してほしい
大切なことは筆談をお願いします



自分の住んでいる地域の人と手話で話したい
地域の慰労会でも手話で交流したい



消費生活相談員の知恵袋 56 ～ネットサービスの解約～



◇事例

夫が亡くなり公共料金の名義変更やクレジットカードの解約手続きを済ませたが、数カ月経った今になって夫宛てに請求書が届いた。インターネット関連の会費のようだが、解約方法が分からない。(60代女性)

◆アドバイス

スマホやパソコンで利用している音楽や映像配信サービス、通販サイトの有料会費などの継続したサービスは、個別に解約するまで請求が続きます。カード払いにしているとカード解約後は改めて本人宛に請求書が送られてきます。その時はじめて契約が続いていることを家族が知ることになります。

このようなサービスでは解約もネット上の手続きを求められ、その際必

要なIDやパスワードがわかれば、スムーズに解約することができます。

また、IDやパスワードが分からない場合でも、契約先が特定できれば家族からの連絡で解約に応じてもらえる場合もあります。

ネットサービスでは契約内容がメール等で送られることが多く、どのような契約をしていたか家族が調べようとしても簡単に見つからないことがあります。万が一に備え、契約しているサービスや解約に必要な情報を日頃から整理しておきましょう。

《豊岡市消費生活センター》

●相談受付 月曜日～金曜日(午前9時～午後4時、祝日・年末年始を除く)

●相談場所 生活環境課内

●電話相談 ☎21-9001

市ホームページ▶

